

日本学術会議主催学術フォーラム「歴史認識を変えるー
歴史教育改革とジェンダー」の開催について

平成 23 年 7 月 2 日（土）、日本学術会議講堂におきまして、標記学術フォーラムを開催し、研究者や一般の方々などが参加して、実施しました。

本フォーラムは、（１）歴史教育の現状を、高校の歴史教育・大学入試・歴史教科書のあり方およびそれらが相互に制約しあっている状況等から検討し、問題点を確認すること、（２）ジェンダー視点を踏まえつつ、状況変革の展望を、歴史における他者認識のあり方を多面的に検討することを通じて拓くことを目的としており、ジェンダー史を中心とする歴史学の専門家等が集まり、講演・討論などを行いました。

具体的には、各出演者が、近代日本の女性史やジェンダーの観点から中国などアジア史、EU諸国史、中・東欧史などを取り上げ、歴史認識がどう変化してきたか、また、歴史教科書、受験勉強の場としての教育、大学での教育などにジェンダーは一定の影響を与えることができたのかなどについて、議論いたしました。

（出演者）

趣旨説明 姫岡とし子（日本学術会議連携会員・東京大学・大学院人文
社会系研究科教授）

女性史・ジェンダー史研究と歴史認識

長野ひろ子（日本学術会議連携会員・中央大学経済学部教授）

歴史認識と女性史像の書き換え

成田 龍一（日本学術会議特任連携会員・日本女子大学人間
社会学部教授）

歴史認識とジェンダーー中国史を学ぶ／教える

小浜 正子（日本学術会議連携会員・日本大学文理学部教授）

歴史教育と歴史認識

桃木 至朗（日本学術会議特任連携会員・大阪大学コミュニ
ケーションデザインセンター教授）

討論・コメンテーター

三谷 博（東京大学大学院総合文化研究科教授）

李 成市（早稲田大学文学芸術院教授）

羽場久美子（青山学院大学国際政治経済学部教授）

閉会挨拶 桜井万里子（日本学術会議会員）

司会 木畑洋一（日本学術会議連携会員・成蹊大学法学部教授）

姫岡とし子